

日本ゲージ

「反省、次回に生かせ」



日本ゲージ（茨城町、山野内十一郎社長、029・292・2511）は、社内で取り組む5S（整理、整頓、清掃、清果を社員がプレゼンテーションで報告し合った（写真）。山野内社長は「お互いに取り組みを学び合い、今回の反省を次回に生かしてほしい」とねぎらった。同社が5S活動を始めたのは2014年2月で、今年で4年目。

5S活動の成果発表会

社員自らがグループごとに生産効率化に向けた課題を見つけ、工具の置き場を使い道に応じて分かりやすく配置する「形跡管理」などを行い、各作業のムダを省いてきた。半年に1回、グループ同士の成果報告の場を設けており、約70人の社員の主体性を養うため、プレゼンも全員が発表に参加している。県内の他の中小企業も成果発表会を見学した。

KMD（水戸市）の木村善徳代表は「当社でも最近5S活動を始めたが、社内全体でどう進めるかを考える上で参考になった」と述べた。

（水戸）